

警視庁と千葉県警、大阪府警はこのほど、インターネットを使った医薬品の無許可販売や無承認医薬品の広告を集中摘発し、薬事法違反容疑で14人を逮捕、7人を書類送検しました。

国際刑事警

察機構（IC

ネットで違法薬販売

PO）などが「ネット上で模造・違法医薬品が横行している」と各国に摘発を要請し、日本では警察庁が捜査を指示したものです。

法令違反が疑われる日本語の医

薬品広告サイトは海外で計128件見つかり、ドメイン（インターネット上の住所）などを調べたところ、半数は中国国内で運営されている可能性が高いことがわかりました。また、

代金の振込先として使われた疑いがある17口座の凍結も金融機関に求め、無承認医薬品の広告を出していた44サイトなどを発見しプロバイダー（接続業者）に削除を要請しました。

防犯一口メモ